

取扱説明書 Ver1.0

本製品は猫用自動トイレです。本来の用途以外に使用しないでください。

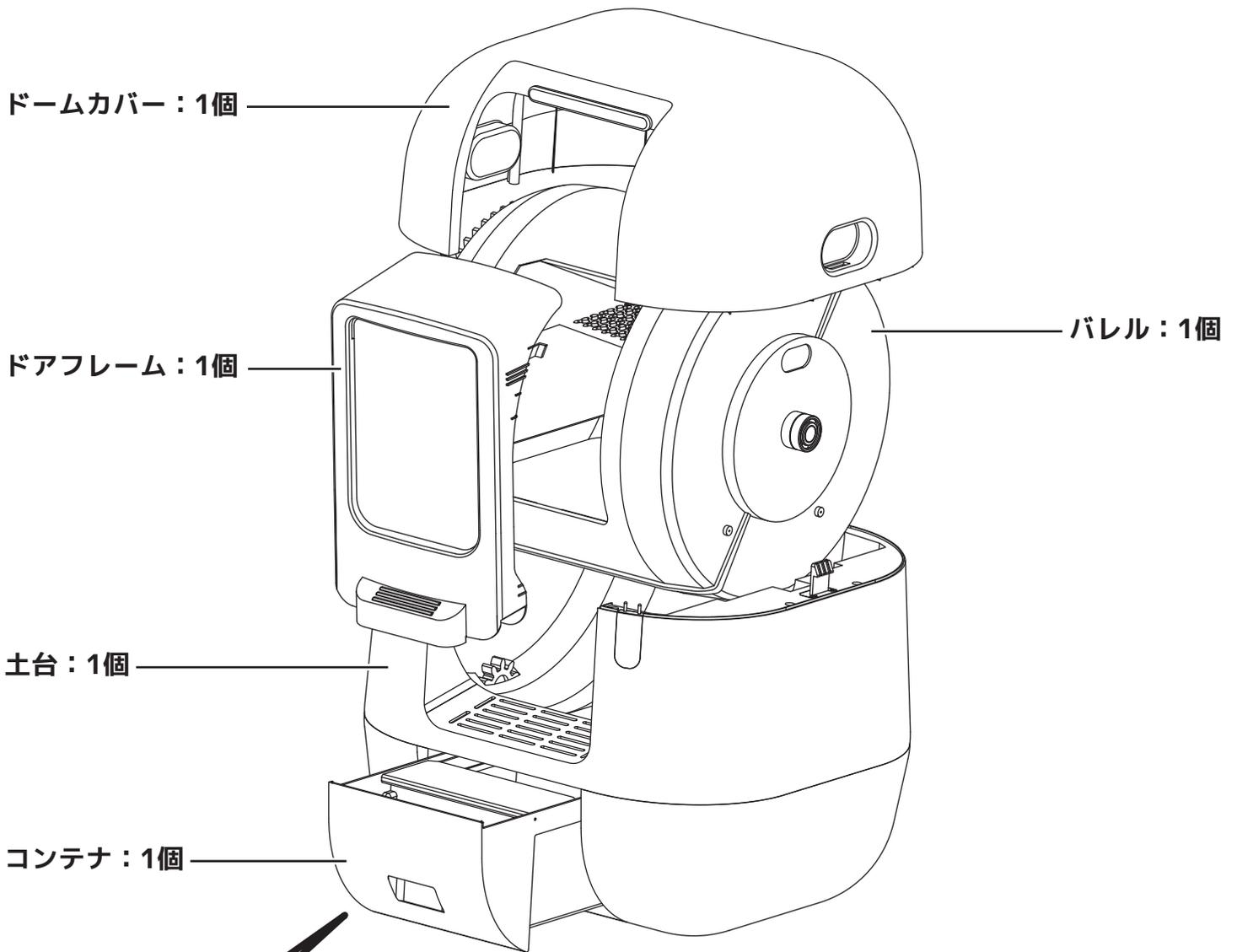
本製品は必ずしもペットの安全・健康を保証するものではありません。必ず使用者が様子を確認しながら使用してください。

注意事項

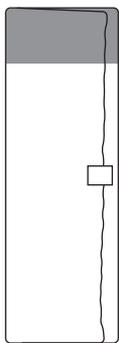
誤った使い方をすると思わぬケガや事故、製品または家財などの破損に繋がる恐れがあります。必ず以下の注意事項を確認してから正しく使用してください。

- 本製品は大型の商品です。アフターサービスを受ける際に必要になりますので、開封後、梱包材は適切に保管してください。
- 窒息などの危険がありますので、お子様やペットがビニール袋で遊ばないようにご注意ください。
- 本製品は、飼い主不在時のペットの飼育を補助するものではありません。長期間の留守はおやめください。また、定期的にお手入れを行ってください。
- 本製品の上に物を置かないでください。本製品の破損につながる危険性があります。また、重量センサーが正しく反応しなくなります。
- 事故やケガに繋がる恐れがありますので、お子様がイタズラしないように保護者の目の届くところでご使用ください。
- 組立・分解の際は指や手を挟まないよう十分注意してください。
- ご使用前に必ず破損や異常がないかを確認してください。破損や異常が見つかった場合は使用をおやめください。
- 電源コードを束ねたままで使わないでください。火災の原因になります。
- 噛み癖がある猫を飼っている場合は、付属の保護チューブを使用してください。また、電源コードが傷んでいる場合は使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電する危険性があります。
- 電源プラグに埃が蓄積しないように定期的に掃除してください。火災の原因になります。
- バレルの回転中に指や手を入れしないでください。怪我をする恐れがあります。
- バレルの回転中にドライバーなどを隙間に差し込むような行為はおやめください。本体の破損につながります。
- 生後三か月以内、体重が1 kg 未満の猫には使わないでください。**複数匹飼っていて、その中に前述の条件を満たす猫がいる場合はその猫だけ近づかないようにしてください。
- 本来意図しない部分に猫砂や異物が入り込んだ場合、直ちに使用をやめて丁寧に取り除いてください。異常動作や故障の原因になります。
- 暖房器具の熱風吹出口の前や火のそば、直射日光の当たる場所に置かないでください。破損や変形、火災の原因になります。
- 洗面所やお風呂場、台所などの水回りや湿気の多いところでの使用はおやめください。感電や火災の原因になります。
- 本製品は業務用ではありません。業務用としての使用はおやめください。

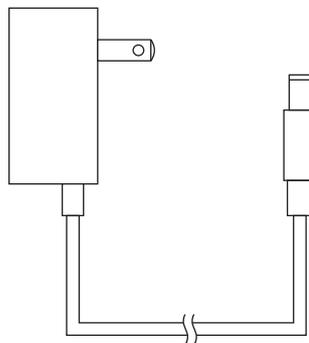
梱包内容



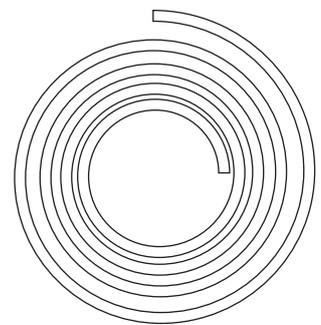
※組みあがった状態で梱包されています。



専用ライナー：1巻（10枚）



電源アダプター：1個



保護チューブ：1個

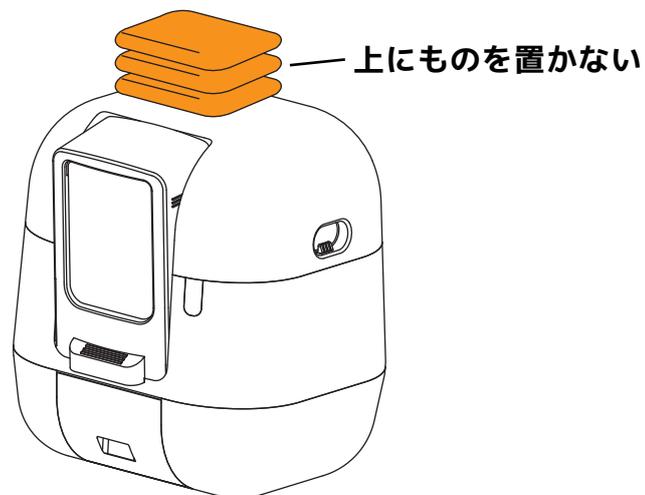
※電源アダプター用

※付属品はすべてコンテナの中に入ってます

《置き方について》



壁と隙間をあける
(1cm程度)



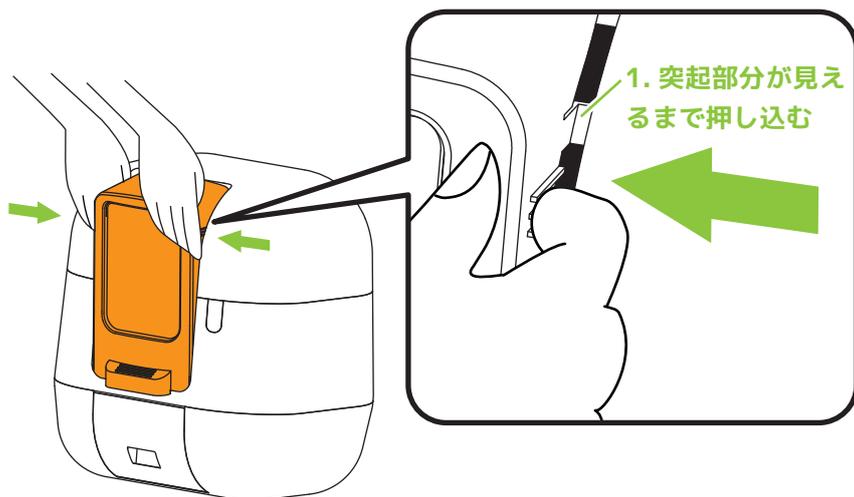
上にものを置かない

本製品を置くときは床面を清潔、水平に保ち壁に接触しないように置いてください。また、上にものを置かないでください。重量センサーが誤作動を起こす可能性があります。

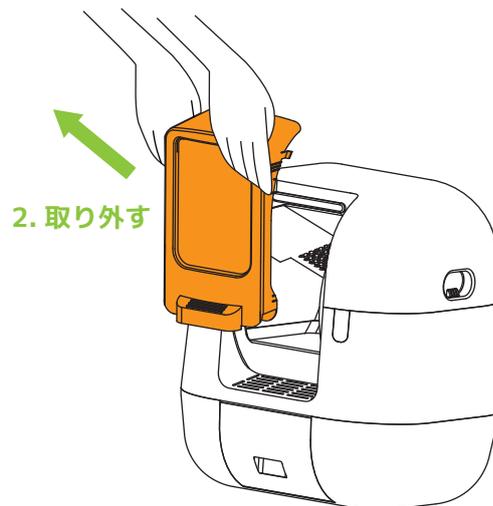
《使える猫砂について》

本製品に使える猫砂は鉱物系と穀物系の固まるタイプの猫砂です。入れる量の目安は鉱物系が 5 ～ 5.5kg、穀物系が 2.7 ～ 3.5kg です。

《ドアフレームの取り外しについて》



1. 突起部分が見えるまで押し込む

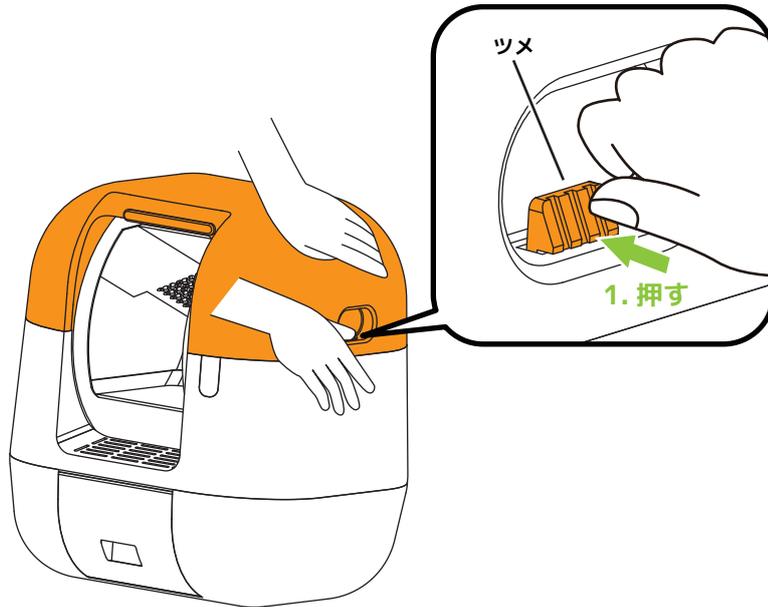


2. 取り外す

1.
ドアフレームの両端上部を指で押し込みます。突起部分が見えるまで押し込んでください。

2.
突起部分が本体に干渉していないのを確認し、取り外します。

《ドームカバーの取り外し》



1.

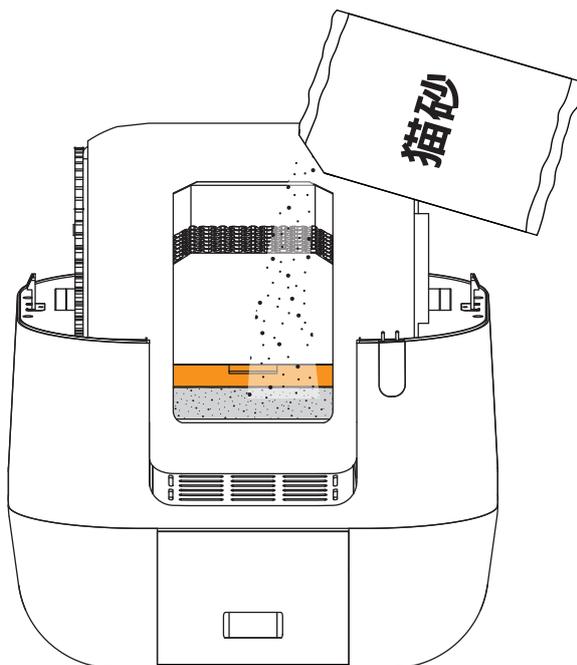
片方の手でドームカバーを押さえながらもう片方の手でツメを外します。
※ツメは左右についています。



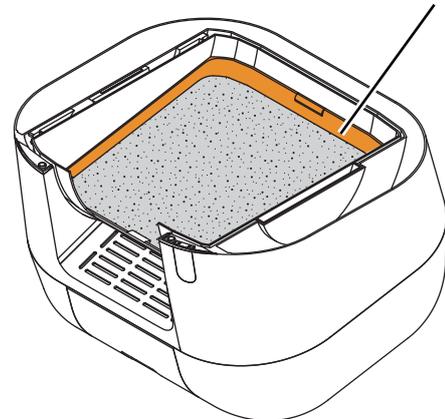
2.

ツメを外すとドームカバーの拘束が外れるので、そのまま取り外してください。

《猫砂を入れる》



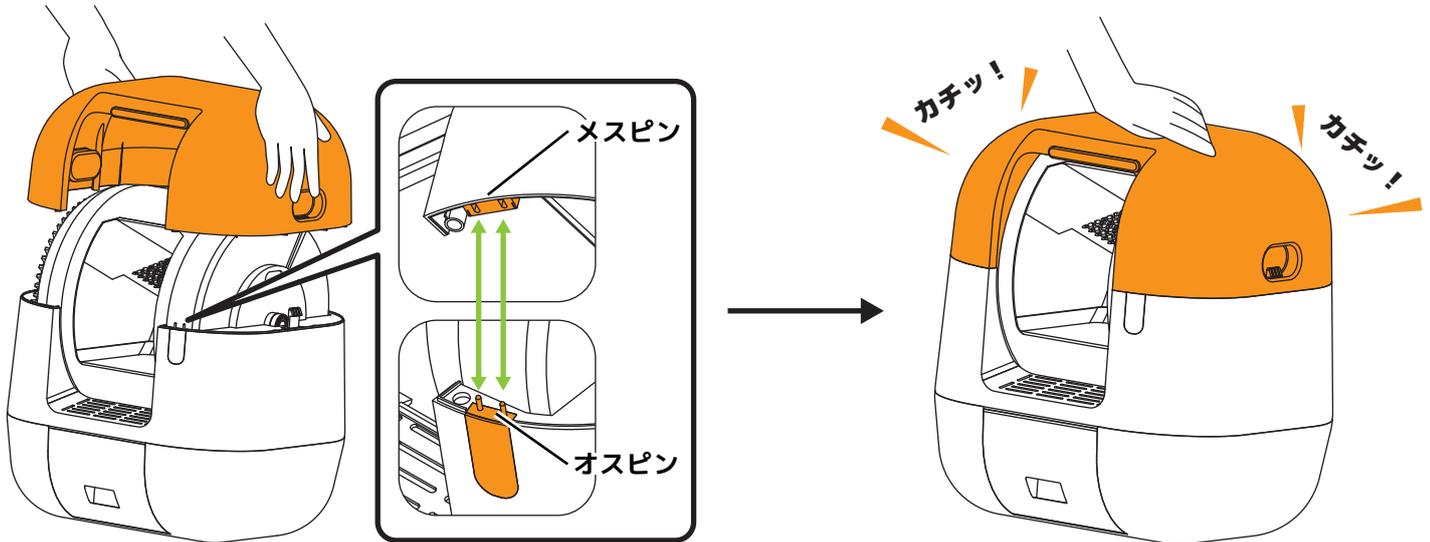
猫砂の高さがこの位置を超えないようにする



入れた猫砂の量がバレル内部の淵のゴムフレイムよりも高くならないようにご注意ください。故障の原因につながります。

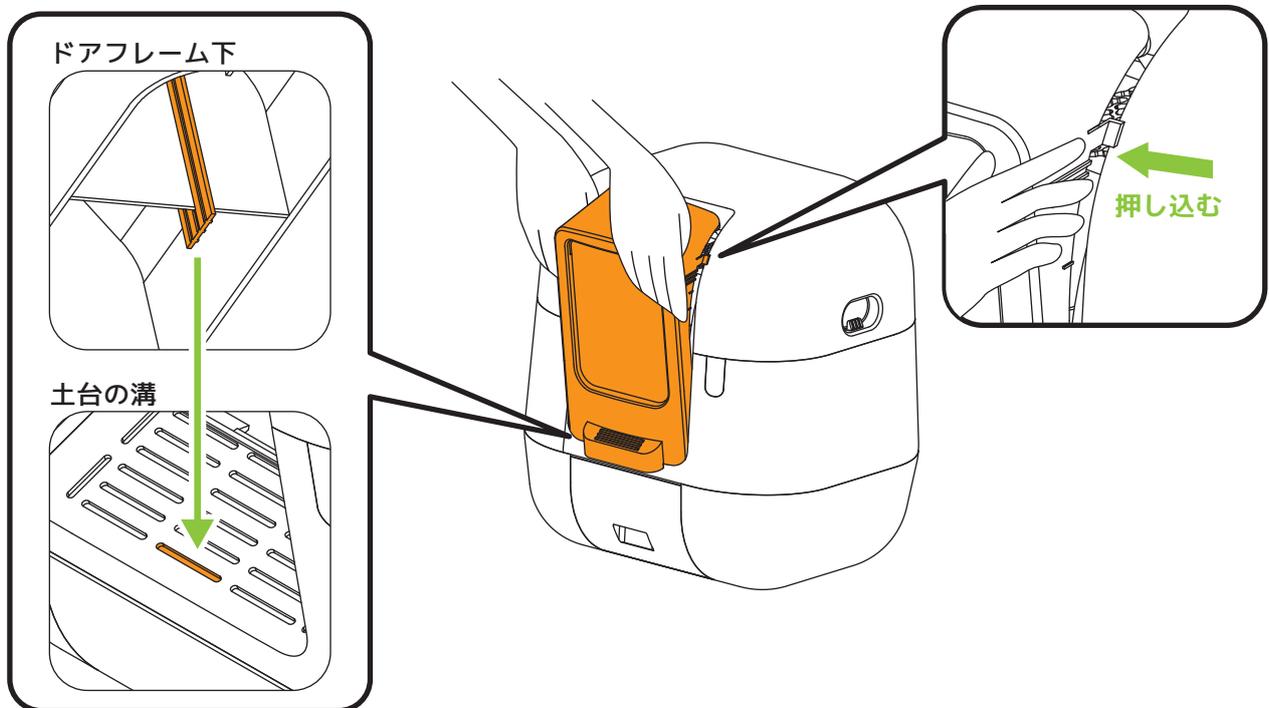
《ドームカバーの取り付け》

※カチッと音がするまでしっかりと取り付けてください



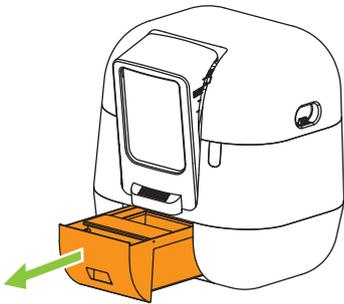
カバーを取り付ける際にパネルについている端子のオスピンとドームカバーのメスピンがしっかりと接続されるように気を付けてください。

《ドアフレームの取り付け》

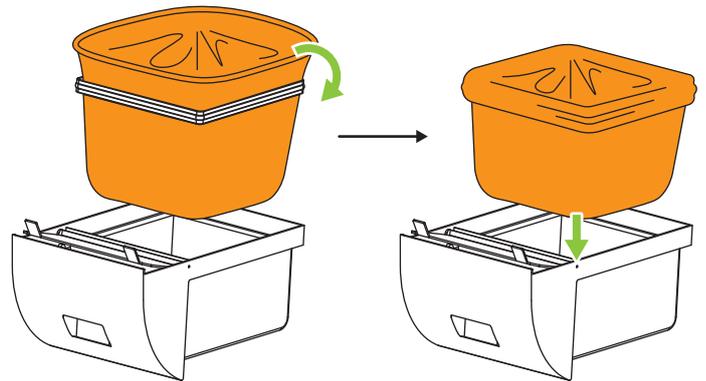


ドアフレームの下の突起を土台の溝に合わせて、ドアフレーム上部の突起部分を内側に押さえ込みながら取り付けてください。

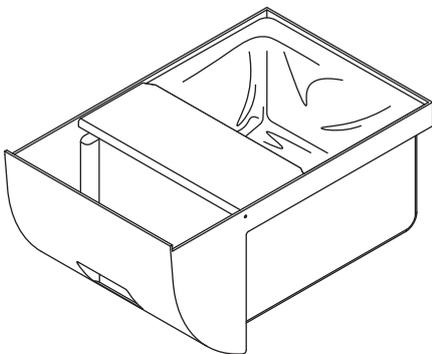
《ライナーの取り付け》



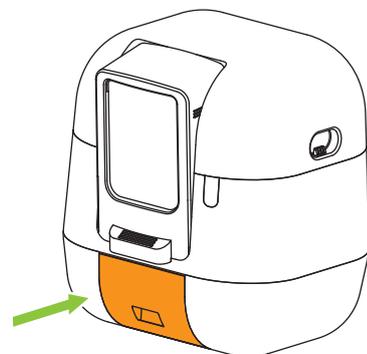
1. コンテナを取り出します。



2. ライナーを装着した後、コンテナに入れます。

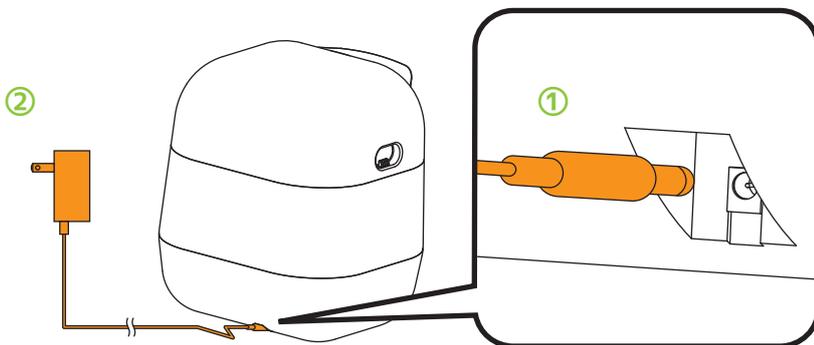


3. ライナーを入れた後は余分な空気を抜いて平らにしてください。



4. コンテナを戻して終わりです。

《アダプターの接続》

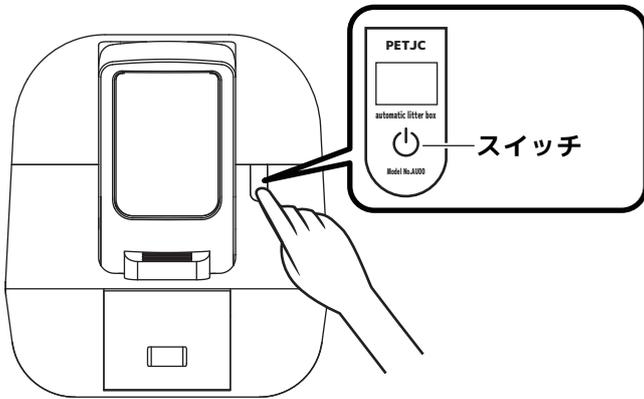


電源アダプターを接続して使用前の準備の完了です。製品側のコネクタは背面の右下にあります。先に製品側のコネクタに接続した後、コンセントに接続してください。

●スイッチを2秒押すことで電源のオンとオフが切り替わります。

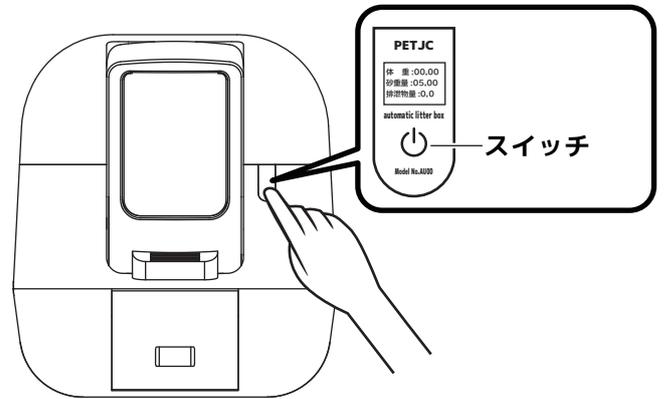
※コンテナが取り付けられてないと、電源がオンにならないので注意してください。

《電源のオン》



スイッチを2秒間押してください。毎回自動で**処理サイクル**が実行されます。

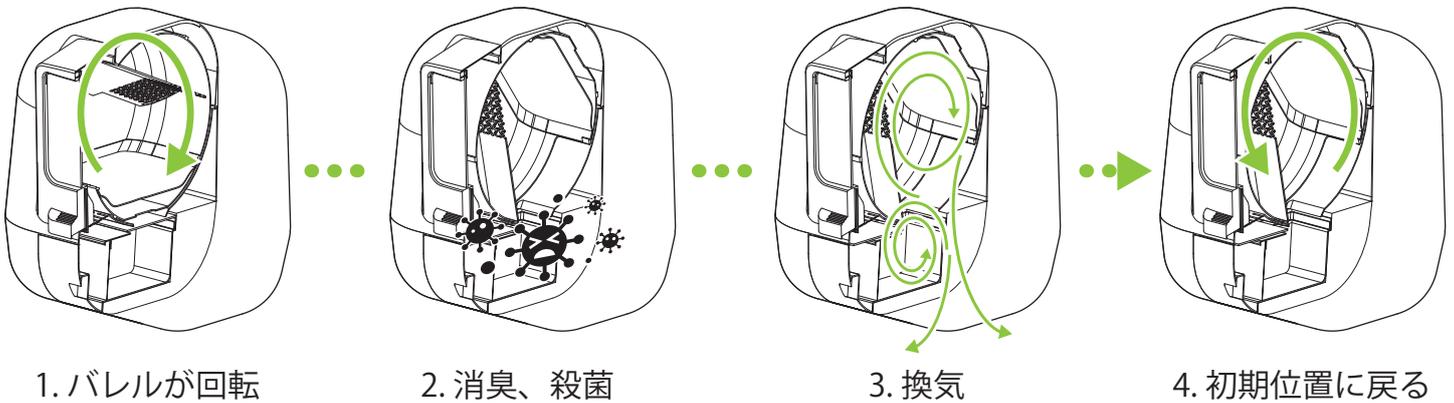
《電源のオフ》



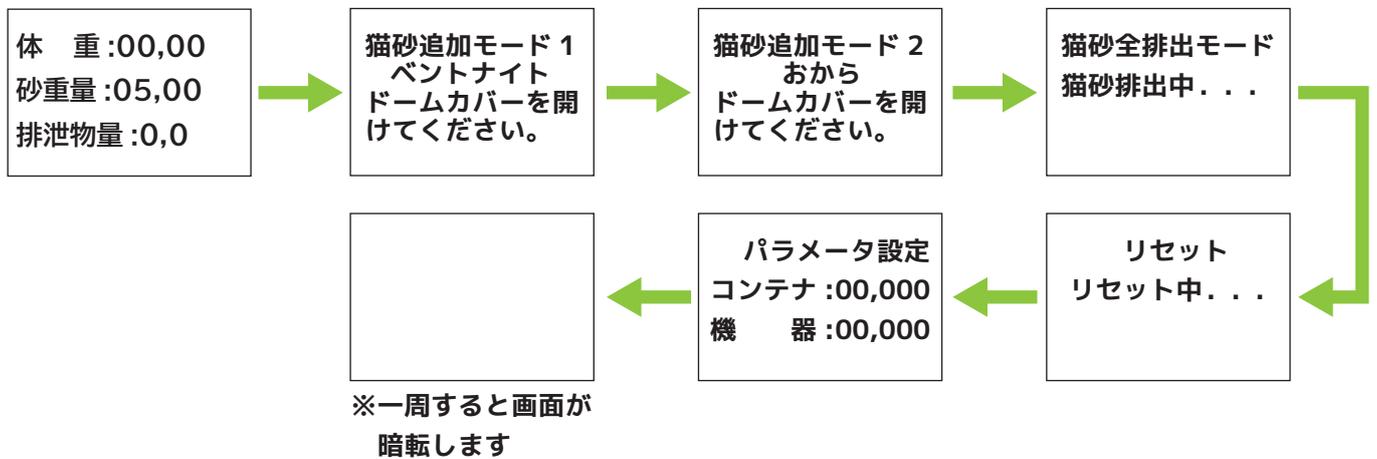
スイッチを2秒押すことで電源がオフになります。

《処理サイクルについて》

処理サイクルとは、バレルが回転し、消臭と殺菌を行った後、換気を行い、バレルの入り口が初期位置に戻るまでのことです。



1. 電源をオンにする時にスイッチを押し続けることでモードが切り替わっていきます。
2. 対応したモードに切り替わったら指を離してください。



※モード選択が一周するとパネルに何も表示されなくなりますが、電源はオンになったままなので何か操作をするには再度電源をオフにした後、電源をオンにする必要があります。

猫砂追加モード 1

1. 鉱物系の猫砂を追加するモードです。このモードが実行されるとバレルの入り口が上に位置するまで回転するので、ドアフレームとドームカバーを外して猫砂を入れてください。
2. 鉱物系の猫砂は 5 ～ 5.5kg を基準に入れてください。猫砂入れるときに重量が 5kg を超えるとデバイスがビープ音を鳴らし続けます。

猫砂追加モード 2

1. 穀物系の猫砂を追加するモードです。このモードが実行されるとバレルの入り口が上に位置するまで回転するので、ドアフレームとドームカバーを外して猫砂を入れてください。
2. 穀物系の猫砂は 2.7 ～ 3.5kg を基準に入れてください。猫砂入れるときに重量が 3.5kg を超えるとデバイスがビープ音を鳴らし続けます。

猫砂全排出モード

1. このモードを選択すると、バレルの入り口が下向きに回転し、バレル内の猫砂をすべてコンテナに排出します。
2. このモードを選択する前に、コンテナに十分な空き容量があることを確認してください。
3. このモードを実行した後は、**猫砂追加モード 1** もしくは**猫砂追加モード 2** にて猫砂を追加してください。

リセット

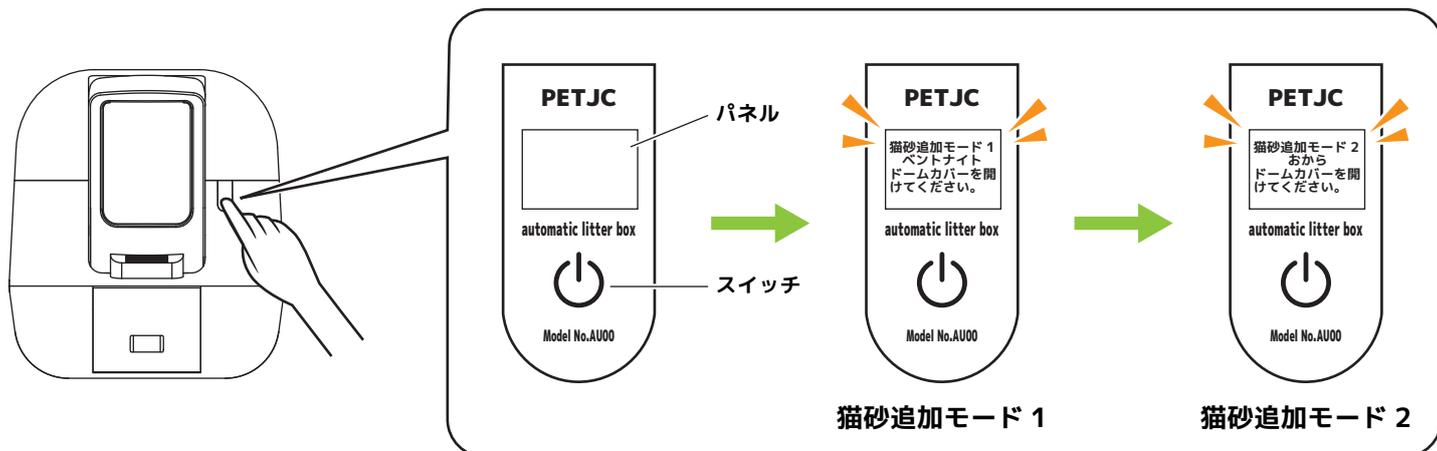
すべてのデータを工場出荷時の状態に戻します。

パラメータ設定

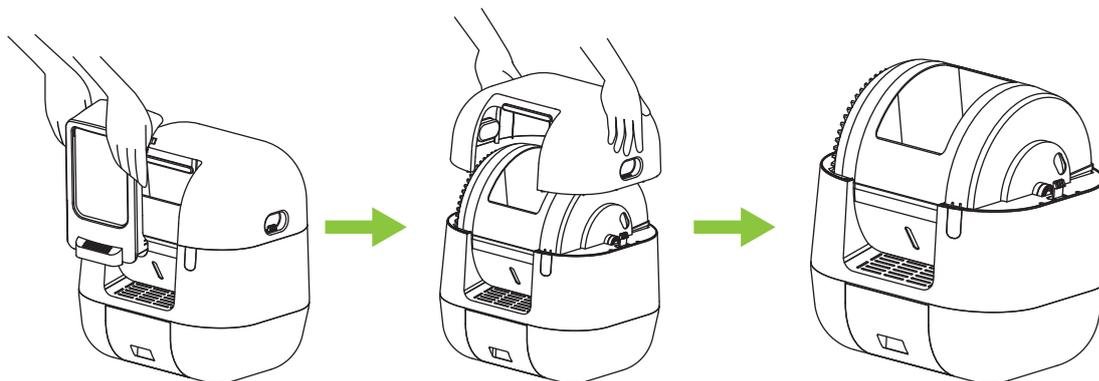
1. このモードを選択すると、**体重 / 砂重量 / 排泄物**のパラメータが 00,00 に補正されます。
2. このモードを選択する時に、ドアフレームやドームカバー、コンテナ等のパーツが本体に取り付けられていることを確認してください。取り付けられていないと、重量が正しく測定されません。
3. 猫砂が入った状態でパラメータ設定を行うと、猫砂の重さを含んで 00,00 と測定されてしまいます。必ず猫砂をすべて取り除いてから行ってください。
4. 床を清潔、水平に保ち、本製品が傾いていない状態でこのモードを選択してください。

モードについて《猫砂追加モード1,2》

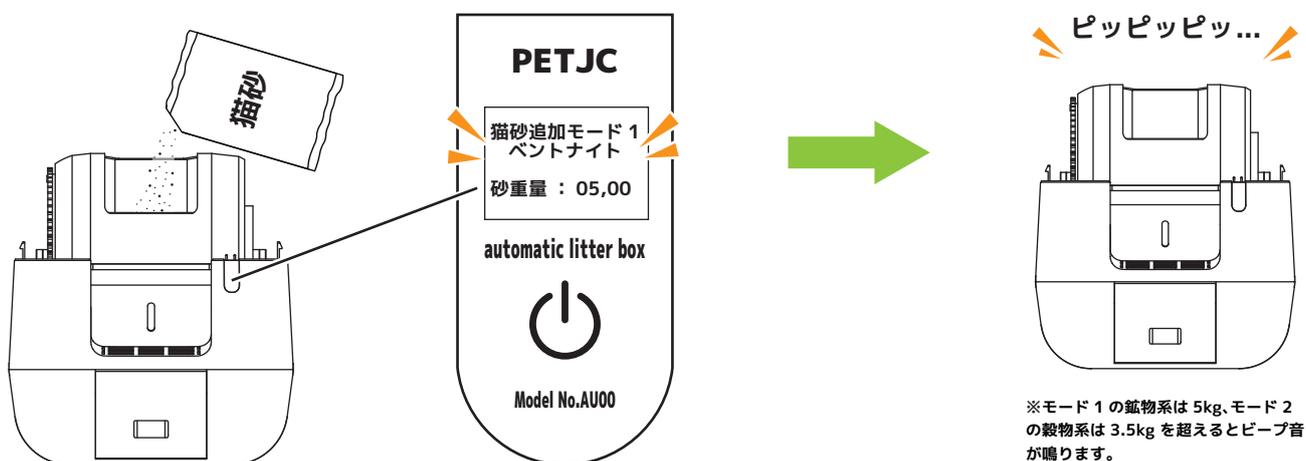
モード 1 は鉱物系、モード 2 は穀物系に対応したモードです。



1. 電源オフの状態から、パネルの表示が《猫砂追加モード 1》もしくは《猫砂追加モード 2》に変わるまでスイッチを押し続けてください。パネルの表示が目的のものに変わったら、指を離すことでそのモードを選択したということになります。

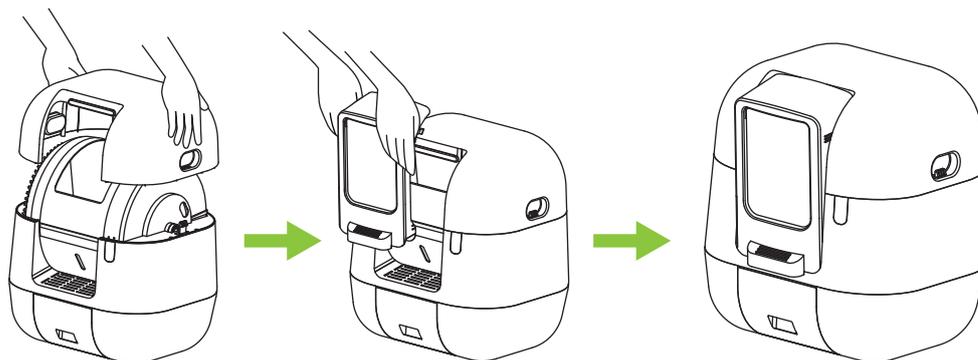


2. モード選択が完了するとバレルの入口が上向きに位置するように回転します。同時に、《ドームカバーをあけてください》という指示がパネルに表示されるので《使用前準備》の①、②の手順に従ってドアフレームとドームカバーを取り外します。

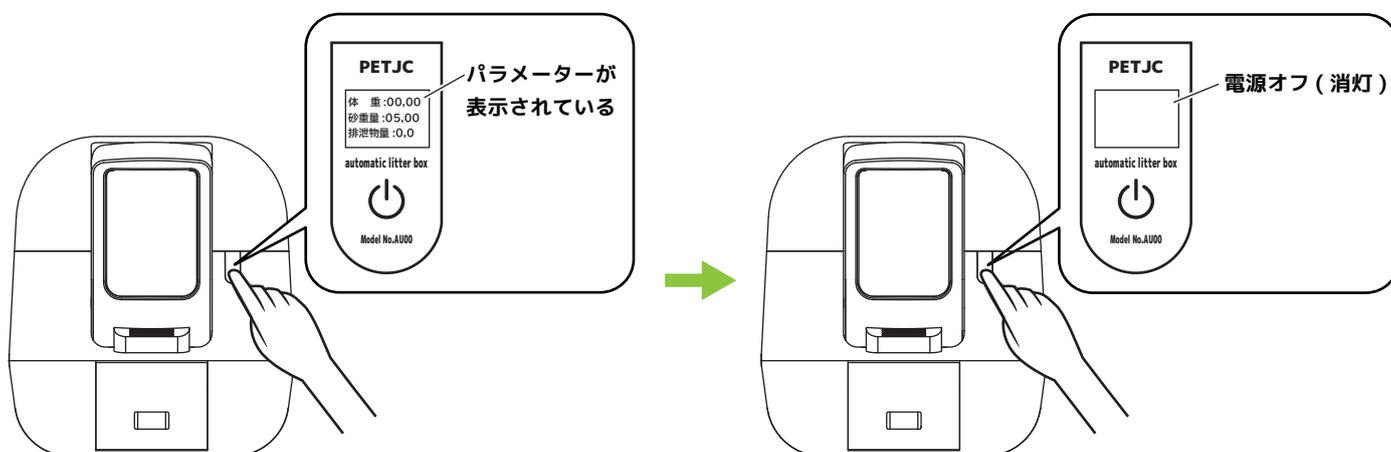


3. 猫砂をバレルに入れます。パネルに砂重量が表示されるのでモード 1 の鉱物系は 5kg、モード 2 の穀物系は 3.5kg を基準に入れてください。各モードに対応する量を満たすとピープ音が鳴ります。

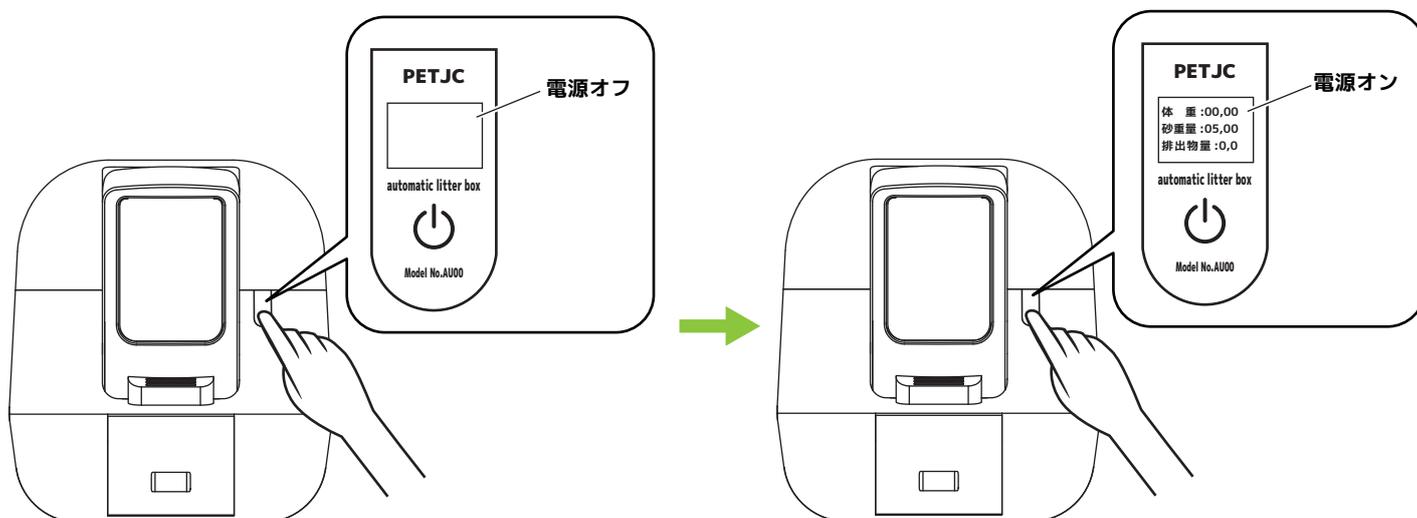
モードについて《猫砂追加モード1,2》



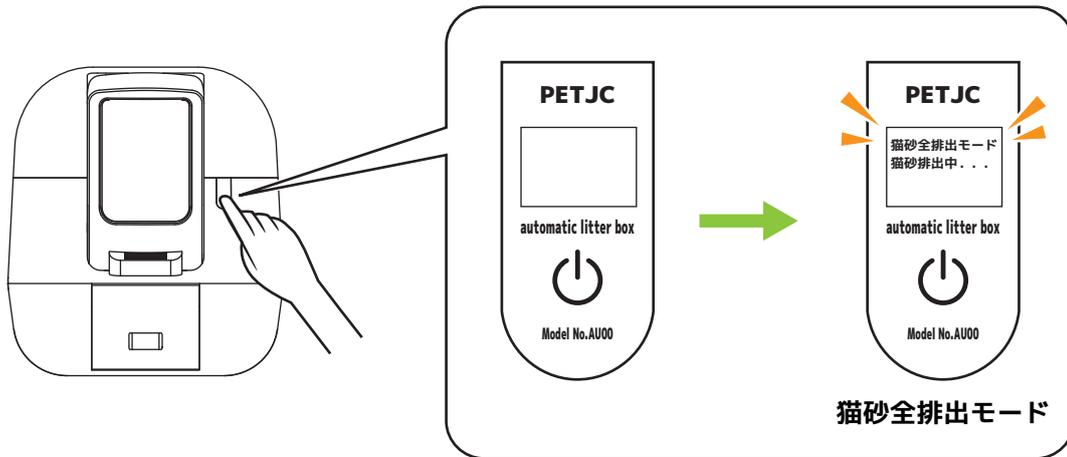
4. ビープ音が鳴るのを確認したら《使用前準備》の④、⑤の手順に従ってドームカバーとドアフレームを取り付けます。



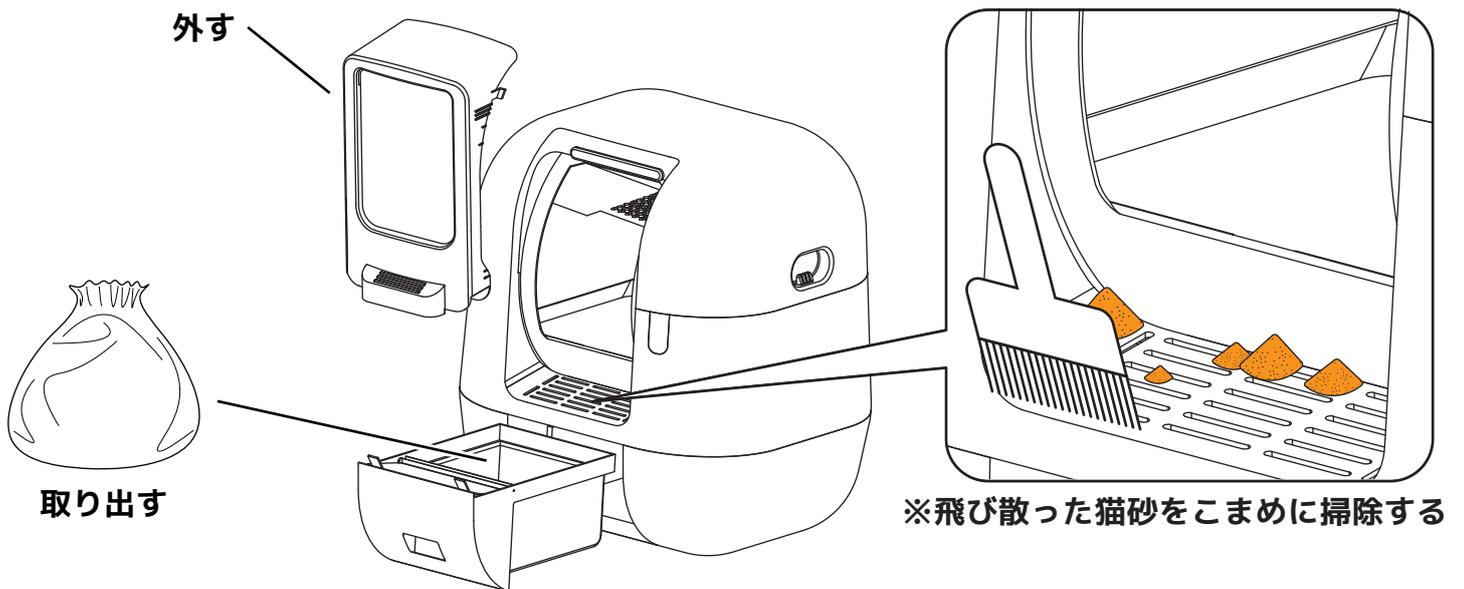
5. ドアフレームとドームカバーの取り付けが完了したらパネルにパラメーターが表示されていることを確認し、**2秒間スイッチを押して電源をオフ**にします。**電源がオフになるとパネルに表示されているパラメーターが消えます。**



6. **電源をオフにした後、再度スイッチを2秒間押して電源をオン**にします。電源がオンになるとパネルにパラメーターが表示され、**処理サイクルが自動で実行**されて終了です。

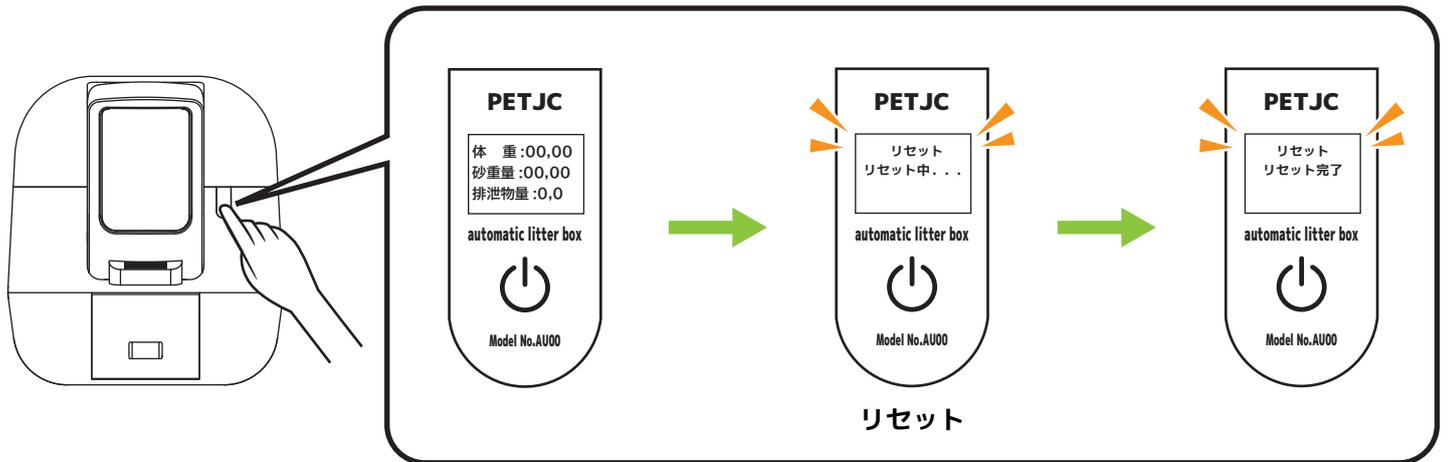


1. 電源オフの状態から、パネルの表示が《猫砂全排出モード》に変わるまでスイッチを押し続けてください。パネルの表示が目的のものに変わったら、指を離すことでそのモードを選択したということになります。



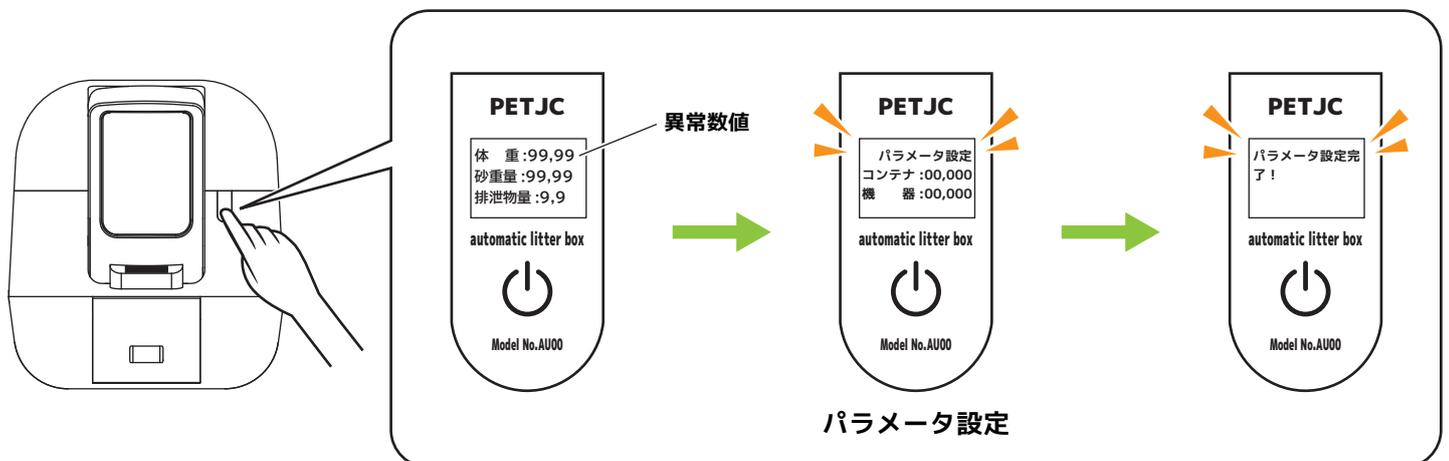
2. 猫砂全排出モードが始まるとバレルが回転し、中の猫砂がすべてコンテナに排出されます。表示パネルの《猫砂排出中...》の文字が元のパラメーター表示に変わると完了です。その際に砂が飛び散るのでドアフレームを取り外した後、こまめに掃除してください。

《リセット》



電源オフの状態から、パネルの表示が《リセット》に変わるまでスイッチを押し続けてください。パネルの表示が目的のものに変わったら、指を離すことでそのモードを選択したということになります。表示パネルの文字が《リセット中...》から《リセット完了!》に変わったら、一度電源をオフにした後、オンにしてください。自動で処理サイクルが実行されて終了です。

《パラメータ設定》



電源オフの状態から、パネルの表示が《パラメータ設定》に変わるまでスイッチを押し続けてください。パネルの表示が目的のものに変わったら、指を離すことでそのモードを選択したということになります。表示パネルの文字が《パラメータ設定完了!》に変わったら、一度電源をオフにした後、オンにしてください。自動で処理サイクルが実行されて終了です。

このモードを選択すると、重量表示などの測定数値がすべて00,00に補正されます。

注意

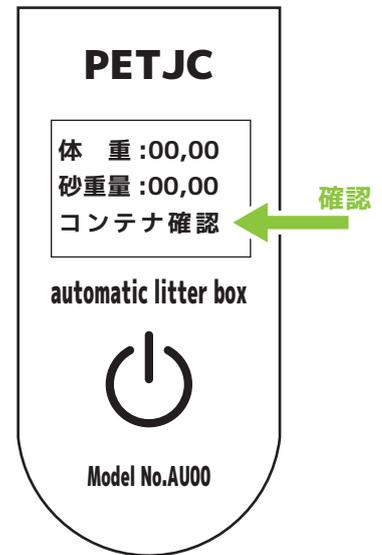
- 各パーツが取り付けられていることを確認してからこのモードを選択してください。
- 猫砂が入った状態でパラメータ設定を行うと、猫砂の重さを含んで00,00と測定されてしまいます。必ず猫砂をすべて取り除いてから行ってください。

《猫砂追加！》



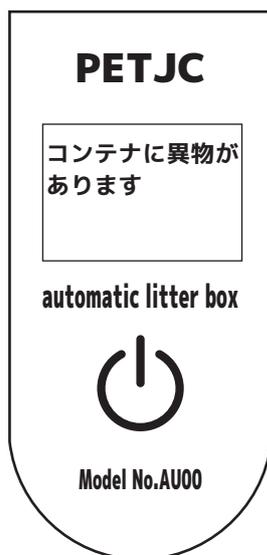
砂重量のメーター表記が《猫砂追加！》となっている場合、バレル内の猫砂が不足しているので、前述の《猫砂追加モード 1,2》の手順に従って猫砂を追加してください。

《コンテナ確認》



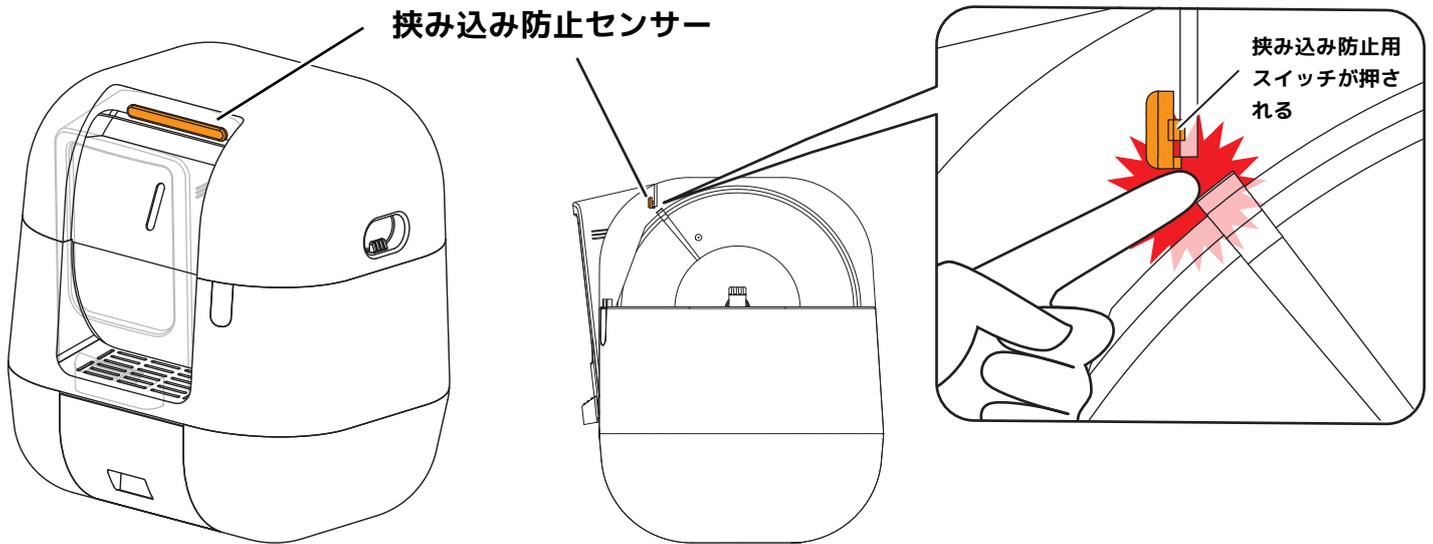
排泄物量のメーター表記が《コンテナ確認》となっている場合、コンテナ内が排泄物でいっぱいになっているので、ライナーを交換してください。

《コンテナに異物がありますと表示される》



パネルに《コンテナに異物があります》と表示されている場合バレルの下にあるシャッター部分に異物が挟まっています。破損の原因になるので使用をやめて、直に取り除いてください。

《バレルが回転中に止まった》



例 1. ドームカバーに取り付けてある挟み込み防止センサーに接触することで、バレルの回転が止まります。反応した後はバレルが初期位置まで戻ります。そのまま継続して使えるので、とくに操作は必要ありません。



例 2. バレルの回転中に本体に体重がかかる（重量センサーが反応する）ことで、バレルの回転が止まります。回転が止まった後は、バレルが初期位置まで戻ります。そのまま継続して使えるので、とくに操作は必要ありません。

注意

本製品は電化製品です。お手入れをする際、漏電しないように『しっかり乾かしてから使う』、『電子機器が組み込まれている部分に直接水が触れないようにする』を必ず守ってください。

- 長くお使いいただくために定期的に掃除をしてください。
- 汚れてしまった場合、薄めた中性洗剤に浸した布を硬く絞って拭き取り、風通しの良いところで陰干しをしてください。
- 洗剤を使用するときは薄めた中性洗剤を使用してください。
- シンナーやベンジン、漂白剤などは使用しないでください。変色したり変形したりする原因になります。

アイコン説明



・水洗い可能
水で洗った後は水気が残らないようにしっかりと乾かしてください。



・拭き取り可能
薄めた中性洗剤に浸した布を硬く絞って拭き取り、風通しの良いところで陰干しをしてください。



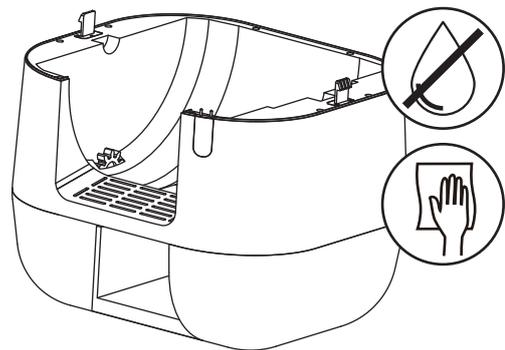
・水洗い不可能
水洗いできません。内部機器の故障や金属部品の錆びの原因になります。



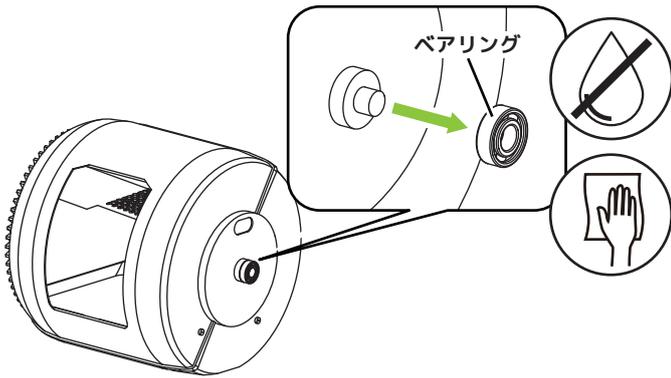
・洗濯機、もみ洗い不可能
洗濯機不可能です。流す程度の水洗いは可能ですが、もみ洗いも不可能です。



・ドームカバー
水洗い不可、拭き取り可能です。

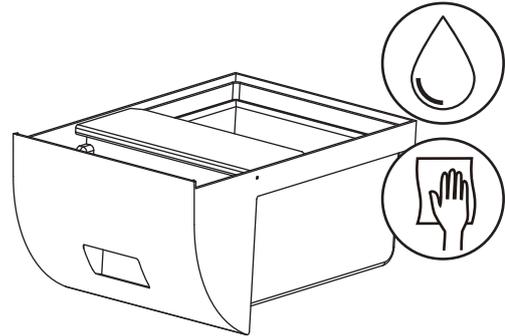


・土台
水洗い不可、拭き取り可能です。



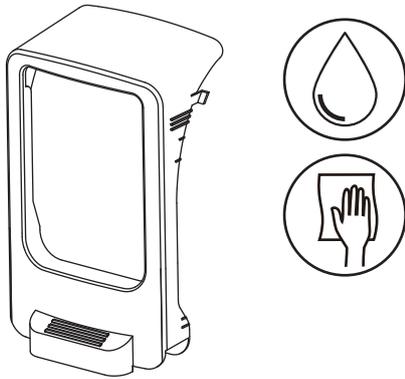
・バレル

水洗い不可、拭き取り可能です。
※ベアリングは取り外し可能です。



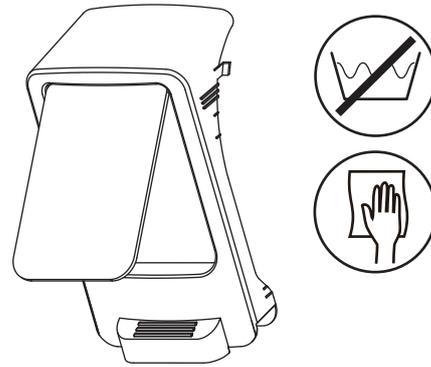
・コンテナ

水洗い、拭き取り可能です。



・ドアフレーム

水洗い、拭き取り可能です。



・カーテン

洗濯機、もみ洗い不可、拭き取り可能です。
濡らした布を固く絞ってから、汚れを拭き取ってください。

製品情報

本体

【外寸】幅 61.5×奥 56×高 69 cm

【重量】12.5kg

《その他情報》

【主な素材】本体：ABS,PP,PS カーテン：ポリエステル

【メーカー】Shenzhen Kangchengtai Industrial Co., Ltd

【生産国】中国